

令和3年度 全国学力・学習状況調査より ～結果の分析と改善点～

令和3年9月発行
坂井市立春江中学校

学習面について

国語

話し合いの内容や意見文を注意して読み、話題の方向や段落相互の関係を理解することは良好ですが、語句の意味や、相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題があります。さらに読解力を高めるために、授業の中で、場面の展開や登場人物の言動に着目して読みましょう。また、言語の力を身につけるために、語句の意味を文脈の中で捉え、敬語や文法の問題を繰り返し行って確実に理解していきましょう。

学習指導要領の領域	話す・聞く	書く	読む	言語
県平均	▲	▲	◇	▲
全国平均	○	○	○	▲

評価の観点	関心意欲態度	話す聞く	書く	読む	知識理解技能
県平均	▲	▲	▲	◇	▲
全国平均	◎	○	○	○	▲

- 話し合いでの司会の発言の役割について説明したのとして適切なものを選択することに優れている。
本校92.0%(全国89.7%)
- 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択することに優れている。
本校29.9%(全国24.8%)

【意見文の下書き】

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)などを活用し、インターネット上で文字を通したやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。

からだ

正答 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。

「随時」の意味として適切なものを選択することに課題がある。
本校66.3%(全国74.0%)

正答 そのときどき

「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択することに課題がある。
本校32.6%(全国40.3%)

正答 伺う 謙讓語

本校の平均正答率(%)の全国・県との比較

- ◎ … 2ポイント以上の +
- … 1ポイント以上から2ポイント未満の +
- ◇ … ±1ポイント未満
- ▲ … 1ポイント以上から2ポイント未満の -
- ▲ … 2ポイント以上の -

数学

文字式を用いた式の四則計算や、資料のデータに基づいて数学的に処理する力は定着している面も見られますが、数学的な見方や考え方を働かせて事柄の特徴を説明することには課題が見られます。単に答えを求めるだけでなく、相手にわかりやすく論理的に説明できるような思考力や表現力を身につけて、粘り強く課題に取り組んでいきましょう。

学習指導要領の領域	数と式	図形	関数	資料の活用
県平均	▲	▲	▲	▲
全国平均	▲	◇	◇	◎

評価の観点	関心意欲態度	見方考え方	技能	知識理解
県平均	▲	▲	▲	▲
全国平均	▲	▲	◎	○

- 反復横跳びの記録の中央値を求めることに優れている。
本校89.7%(全国84.5%)

正答 54

5 下の記録は、ある中学校の男子生徒10人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

43 46 46 52 53 55 56 56 56 57

(単位：回)

反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

- 四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和が、どの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明することに課題がある。

6

本校24.9%(全国30.0%)

(3) 二人は、自然数を6つずつに区切った表でも、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和が4の倍数になるかを考えることにしました。そこで、次の図3のような表をつくり、四角で囲んだ4つの数の和について調べました。

図3

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

正答

四角で囲んだ4つの数の和は、左上の数と右下の数の和の2倍である。

真菜さんの計算

$$\begin{aligned} & n + (n+1) + (n+6) + (n+7) \\ &= n + n + 1 + n + 6 + n + 7 \\ &= 4n + 14 \\ &= 2(2n + 7) \end{aligned}$$

n	n+1
n+6	n+7

真菜さん「自然数を6つずつに区切って表をつくったときは、4つの数の和が $2n+7$ の2倍になることがわかるね。」

優太さん「 $2n+7$ はどんな数なのかな。」

$2(2n+7)$ の $2n+7$ は、 $n+(n+7)$ と変形することができます。このことから、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和は、左上、右上、左下、右下の数のうち、ある2つの数の和の2倍であることがわかります。

四角で囲んだ4つの数の和は、どの位置にある2つの数の和の2倍ですか。「は……である。」という形で書きなさい。

- <留意点>
- 調査結果から読み取れるのは、あくまでも児童生徒の学力の一部分であり、学校における教育活動等の一側面です。
 - 「成果」と「課題」は、学校全体の実態を示したものでなく、調査対象である「中学校第3学年」の調査時点(5月)における状況を示したものです。

生活面について

生活面のアンケート調査によると、本校生徒は、多くの項目で全国平均を上回っています。下回っていた項目は、主に学校の授業以外の学習時間が十分に確保されていないことでした。家庭との連携・協力を図りながら、生徒の学習に対する意識を高め、改善していきたいと思えます。

良いところ

[生徒質問紙より]

- 😊 **規則正しい生活を送っている生徒が多い。**

 - ・朝食を毎朝食べる。 本校 94.6% (全国 92.8%)
 - ・毎日同じくらいの時刻に寝る。 本校 86.1% (全国 79.8%)
 - ・毎日同じくらいの時刻に起きる。 本校 95.4% (全国 92.7%)
- 😊 **学校生活で友達と良好な関係が見られる。**

 - ・学校に行くのは楽しい。 本校 82.2% (全国 81.1%)
 - ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。 本校 80.3% (全国 74.7%)
 - ・友達と協力するのは楽しい。 本校 96.1% (全国 93.3%)
- 😊 **やさしく思いやりがある。**

 - ・人が困っているときは進んで助ける。 本校 90.4% (全国 88.5%)
 - ・人の役に立つ人間になりたい。 本校 95.0% (全国 95.0%)
- 😊 **地域の活動に意欲的である。**

 - ・今住んでいる地域の行事に参加している。 本校 60.3% (全国 43.7%)
- 😊 **I C T 機器に関心がある。**

 - ・学習の中でコンピュータなどの I C T 機器を使うのは勉強の役に立つと思う。 本校 95.8% (全国 93.2%)

見直してほしいところ

- 😓 **家庭学習を充実させよう。**

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日まで)家庭で、塾等も含めて1時間以上学習する生徒の割合は、本校では74.6%です。全国平均は75.9%、県平均は75.4%であり、一昨年から改善傾向が見られるものの、一日3時間以上勉強している生徒の割合は低い傾向にあります。また、家で自分で計画を立てて勉強している生徒の割合も、本校では52.9%、全国平均は63.5%、県平均は60.3%であり、今後も継続して指導していく必要があります。

Q.学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
(学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

	3h以上	2~3h	1~2h	0.5~1h	0.5h未満	まったくしない
本校	3.9	25.9	44.8	17	6.6	1.8
県	6.4	26.4	42.6	16.4	5.7	2.5
全国	12.3	29.5	34.1	14.1	6.4	3.6

